

2026 年 7 月 16 日

私立大学図書館協会東地区部会 2026 年度「管理職研修」概要

私立大学図書館協会東地区部会長校
中央大学図書館

1. 研修の目的および今回のテーマ

[目的]

大学図書館の管理職を対象とした研修は少なく、管理職として大学図書館を取り巻く状況を知り共有する機会は、コロナ禍を経てさらに必要とされてきている。また、図書館業務経験や管理職としての経験の長短にかかわらず、課題を共有して意見を交換することが、管理職としての視野を広げるために必須である。

そこで、本研修では、大学図書館の現状と課題を共通の理解とし、意見交換を行うことで、各大学や図書館での運営における方向性の発見に繋げることを目的とする。

さらに、研修終了後も参加した管理職の間での人的交流の関係を築く場となることも期待される。

[テーマ]

「大学図書館の現状と課題 ―基本的な理解から課題解決の発見へ」

上記の目的を達成するために、広く現状と課題を認識し、課題解決へとつながるテーマとして設定する。

2. 開催日時・開催方法

2026 年 10 月 2 日（金）13:00～17:00 オンライン開催（Zoom による）

3. 対象者

私立大学図書館協会東地区部会加盟大学図書館に勤務する専任職員の管理職

4. カリキュラム・講師

[カリキュラム]

時間	カリキュラム	備考
13:00-13:10	開会	部会長校挨拶
13:10-14:00	基調講演	畠山 珠美氏（元国際基督教大学図書館長） 「大学図書館の現状と課題（仮題）」
14:10-15:00	グループディスカッション	グループ別に自己紹介、役割決め、グループテーマ設定、全体への発表
15:10-16:00		グループテーマに関する意見（情報）交換、課題と解決策の整理、全体への発表
16:10-16:50	情報交換・講評	司会者を中心にグループ間で情報交換
16:50-17:00	閉会	部会長校（「アンケート記入」を含む）

※時間配分は、グループ数や質疑応答の有無により変更となる場合があります。

[基調講演]

講師：畠山 珠美氏（国際基督教大学 元事務局長、元図書館長）

内容：大学図書館の現状および解決すべき課題について、管理職向けにご講演いただく。

[グループディスカッション]

昨今の大学図書館における課題、あるいは新たな取組として関心の高い話題として、下記の5つを取り上げて、グループディスカッションを行う。

1. 学生との連携活動 - 学生共同、学生参加型図書館の展開など
 2. 人材育成の諸問題 - 図書館の将来像と人材要件、大学人事との関わりなど
 3. 電子化の進展と電子ジャーナルをめぐる課題 - 価格高騰への対応、利活用促進など
 4. 学術情報流通をめぐる諸課題 - オープンアクセス、オープンサイエンスへの対応など
 5. 大学図書館における生成AI - 図書館としての利活用、大学の方向性との関わりなど
- ① 参加者を課題ごとに、5～6名のグループに分け、ブレイクアウトルームを設定する。
 - ② 自己紹介、役割（司会・記録・発表）分担、検討課題の確認・設定、意見交換を進め、課題の整理と解決策等をまとめる。
 - ③ グループごとに、話し合った内容を発表し、情報交換を行う。

※ 課題テーマについてはグループ分け調整のため、参加申込時に第2希望までご選択いただきます。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以 上